当日資料1

安芸太田町「道の駅」再整備の経緯と今後の展開

平成２９年度 ▪▪▪▪▪▪▪▪ 令和２年度 | 令和３年度～ | 実現開業

プラン

基本構想
・基礎調査
・基本コンセプト

→ **平成３０年度 重点「道の駅」**

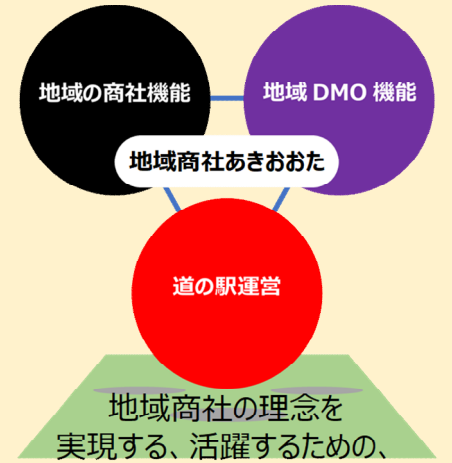
「上位計画再確立」 産業・観光 振興基本計画
・産業・観光戦略における道の駅のあり方再構築

→ **基本計画**
・事業規模
・事業手法
・基本設計

→ **基本設計 実施設計**
・関係機関
・開発許可

→ **施工 竣工**

オペレーション



地域商社の理念を
実現する、活躍するための、
フィールド➔「道の駅」及び周辺地域

平成３０年度～
「運営主体設置」
地域商社あきおおた 設立・立ち上げ
・地域ブランディング
・ＨＰ・Ｅコマース
・ＤＭＯ候補法人

運営戦略構築

売上目標
・事業計画

関係構築
・生産者
・事業者

ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ

令和３年度

地域連携・市場拡大

戦略実践

産直事業拡大
・生産者等と実践

物販事業拡大
・出荷者等と実践

観光ＤＭＯ定着
・地域連携強化など

令和４年度～

本格展開

新生
道の駅を
拠点に
展開

事業者実践会議

再整備委員会（専門家）、住民ＷＧ

本協議会及び関連会議体等の検討体制　①

○各会議体等の役割

安芸太田町長
・最終決定権者
⇒プロジェクトチームからの報告を受け、指示・最終ジャッジを行う

プロジェクトチーム会議
・庁内部局＋地域商社で構成し、「観光・産業振興戦略」「道の駅来夢とごうち周辺施設再整備基本計画」に関する実質的な立案や協議・調整を行う場
・策定員会へのアドバイス、実務者会議からのアイデアを求めることができる

実務者会議
・プロジェクトチーム会議の依頼を受け、テーマに沿ったメンバーから、アイデア等の抽出を行う
・町内観光・産業施策（庁内）
・観光（道の駅を中心とした連携）
・産業（産品開発・PR）

策定委員会
- 有識者や関係者の代表が集い、アドバイス・提言等を行う機関
- 町（PTチーム）からの諮問を受け、答申を行う

⇒検討内容は「観光・産業振興戦略」「道の駅来夢とごうち周辺施設再整備基本計画」に関すること

企画課
・事務局機能を担い、会議体等の調整等を実施

コンサルタント
- 企画課（事務局）をサポート

⇒「観光・産業振興戦略」「道の駅来夢とごうち周辺施設再整備基本計画」の素案作成など

意見交換会
・町民との意見交換を実施

検討内容（アウトプット）　①

○「観光・産業振興戦略」のアウトプット

- 町の観光・産業の目標（到達したい姿）を共有する

- 観光・産業の振興に向けて、道の駅を介してできる施策・担当する体制を明確にする。（何をやらないといけないのか、ミッションを明らかにして、これに従って活動する）

＜戦略の構成案＞

１．策定の目的、計画の位置づけ
２．現在の観光・産業の状況
３．観光・産業の課題
４．将来の目標（めざすべき姿）
５．将来の目標を達成するための取組（施策）
　　施策、主体、実施時期を設定

検討内容（アウトプット）　②

○「道の駅来夢とごうち周辺施設再整備基本計画」のアウトプット

- 道の駅(及び周辺施設)に関する基本的な計画（基本設計の前段階）

＜基本計画の構成案＞

①計画条件等の整理
②利用者ニーズ等の整理
③施設整備コンセプトの検討
④導入機能の検討
⑤ゾーニング及び動線計画の検討
⑥施設計画の検討
⑦本施設の利活用による地域振興方策の検討
⑧概算事業費及び事業スケジュールの検討

※事業手法に関する基礎調査
①想定される事業手法の抽出
　ア．事業範囲の検討
　イ．国等の動向調査
　ウ．実施手続きの整理
②道の駅における適用事例の調査